

<参考資料－ 3 >

厚生労働省健康局水道課「平成19年（2007年）能登半島地震水道施設被害等調査報告書」
より抜粋（旧門前町）

表4.2 口径・管種・被害形態別被害件数（旧門前町）

	管種	DIP	ACP	SP	PE	VP	その他 (SUS)	計	管路延長 (km)	被害率 (件/km)
口径	50mm以下			4		11		15	30.2	0.50
	65～75mm	4	5	4		9		22	74.8	0.29
	100mm	4	1			3		8	30.5	0.26
	125～150mm		2			2		4	15.4	0.26
	200mm							0	7.7	0.00
	250mm	5						5	11.6	0.43
	300mm	2						2	4.5	0.44
被害形態	350mm以上							0	0.1	0.00
	継手抜け	14				10		24		
	継手漏水	1		8				9		
	管体破損		8			15		23		
	付属設備							0		
	その他							0		
	計	(一般継手) 15	8	8	0	25	0	56	174.7	0.32
管路延長 (km)	70.5	2.9	3.4	2.6	94.2	1.1	174.7			
被害率 (件/km)	0.21	2.75	2.38	0.00	0.27	0.00	0.32			

輪島市建設部水道課の資料による

- (注) 1.輪島市（旧門前町を含む）には、耐震継手のダクタイル鉄管が13.3km（平成17年度末集計）
布設されていたが被害は無かった。
2.塩ビ管の被害はTS継手での管体破損・継手抜け、RR継手での継手抜け、漏水であった。

<参考資料－ 4 >

厚生労働省健康局水道課「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震水道施設被害等調査報告書」（柏崎市）より

報告書では、DIP（539km）の被害（218件）は一般継手のダクタイル鉄管であり、被害率は0.40件/kmとなっている。また、DIPには耐震継手（約130km）が含まれており、被害はなかったとされていることから、DIPの一般継手の被害率は、約0.53件/kmと推定される。